

地域活性化

戦略の狙い

- 地域経済の停滞・人口流出による顧客基盤縮小リスクの低減
- 官民を繋ぐ地域コミュニティのハブという独自ポジションを築き、自社ビジネスに必要不可欠な社会関係資本を強化

▶ 主な取組み

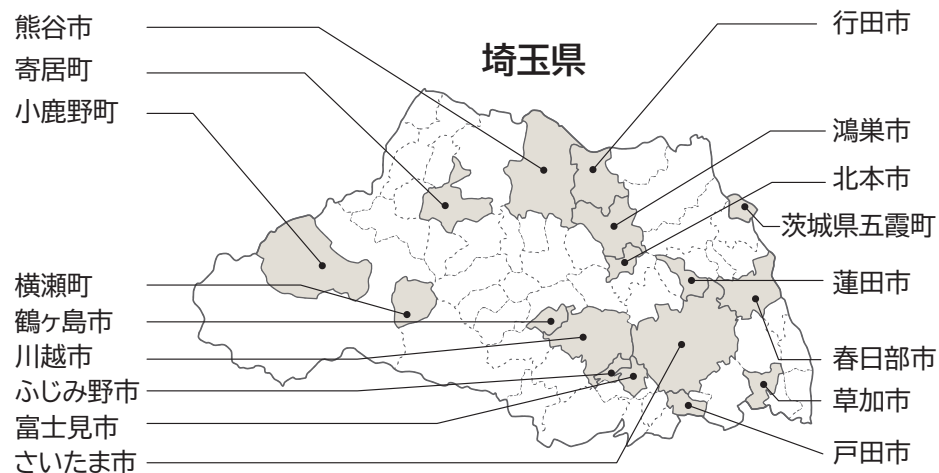
- 官民連携によるまちづくりへの貢献…………… p33～34
- 地域コミュニティの共創…………… p34
- 地域産業の好循環創出…………… p35

Ⅰ 官民連携によるまちづくりへの貢献

地方公共団体との連携・協働

地域活性化や住民サービス向上に向け、地方公共団体との連携・協働を進め、さまざまな取組みを展開しています。

包括連携協定の締結
埼玉県および**17**市町
(2026年7月現在)



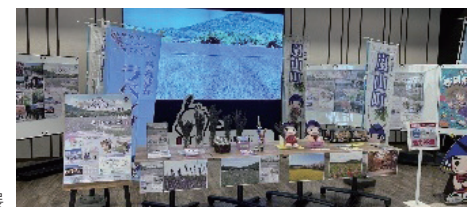
地域の魅力発信

交流・関係・定住の各人口の増加という地方公共団体の課題に対応し、地域の持続的発展や活性化に貢献するため、その地域の魅力を発信するシティプロモーション等をサポートしています。

● 地域創生スペース「M's SQUARE」を活用した魅力発信

本店ビル2階の地域創生スペース「M's SQUARE」では、自治体や企業・団体等と連携し地域の魅力の発信や地域の皆さまとの交流の場となるイベントの開催を行っています。

嵐山町魅力PR展



● 地域情報紙「ぶらって」シリーズ

2007年より立教大学と連携し、観光を通じた地域活性化に向け、学生の視点や思いを込めたまち歩きマップ「ぶらって」シリーズを継続的に制作しています。



地域活性化

官民のネットワークを通じた課題解決

●地域活性コンソーシアム

産学官金の連携による地域活性化を目的に設立した「ぶぎん地域活性コンソーシアム」では、さまざまな課題解決と新たなビジネス創出に向け、情報交換やノウハウ共有に取り組んでいます。

●空き家問題の解決に向けて

県内自治体および企業・NPO法人と連携し、空き家問題解決のため、市民向けセミナーの開催や「空き家活用ローン」を通じた資金面の支援に取り組んでいます。

連携自治体

朝霞市、熊谷市、さいたま市、
坂戸市、新座市、蓮田市、飯能市
(50音順)

●安心・安全のまちづくりに貢献

▶災害に備えた取組み支援

- ・県内自治体と連携し、住民の方々への防災情報の発信などを支援しています。
- ・このほか、株式会社デベロップと連携し、災害時におけるレスキューホテルの提供を行っています。



災害時に仮宿泊施設となる
レスキューホテル(移動式コンテナ)

連携自治体 加須市、川口市、杉戸町、草加市、戸田市、東松山市、松伏町、吉見町(50音順)

▶本店ビルを帰宅困難者の一時滞在施設として提供

さいたま市との協定に基づき、大規模災害時に帰宅困難者200名の受け入れを行います。市や大宮駅周辺事業者と合同で訓練を実施するなど、有事の際の対応力向上を図っています。

- 食料・飲料・毛布など物資の提供
- トイレ・水道など設備提供



帰宅困難者を受け入れる大会議室

Ⅰ 地域コミュニティの共創

少子化の課題解決に向けて

埼玉県内では、未婚率が大きく上昇するとともに晩婚化が進んでおり、こうした流れを転換するべく、県や公的支援機関などと連携し、結婚に向けた出会いの機会創出のためのイベントを開催しています。



婚活イベント

子ども・子育て世代支援

地元企業等と連携し、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援しています。2026年7月には、こども家庭庁により「こどもまんなかりーディングバンク」に採択されました。今後も、子ども・子育て世代の支援に一層注力していく方針です。



こどもまんなかりーディングバンク発表会

高齢者の社会参加をサポート

●デジタルデバйд解消に向けた取組み

大学・企業・自治体と連携し、当行店舗や公共施設で、デジタルデバйд（＊）の解消に向けたスマートフォン相談会を開催しています。

（＊）デジタルデバйдとは、インターネット等情報通信技術を使うことのできる人とできない人の間に生じる「情報格差」をいいます。

●地域商社による高齢者（アクティブシニア）支援

地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、これまでの銀行業務の枠組みを超えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の活性化に貢献することを目指しています。有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの暮らしを彩る体験の提供を通じて、新たなコミュニティの創出を行っています。

地域活性化

Ⅰ 地域産業の好循環創出

農業課題の解決

農業分野に特化した専門チームを中心に、異業種による新規参入支援など地元銀行ならではのソリューションを提供しています。

新規就農・異業種からの 参入支援	資金調達 (専用融資商品)	セミナー等を通じた 経営革新支援
販路拡大に向けた ビジネスマッチング	地域産品を活用した 新商品開発支援	県内農業の 課題解決プロジェクト展開

● むさしのアグリイノベーションプロジェクト

農業分野での実践的な取組みとして、2023年に立ち上げた本プロジェクトのもと、地元生産者と連携し農作業の省力化や環境負荷を低減する新たな栽培方法に挑戦しています。あわせて、様々な加工品の開発に取組み、そこで得られた示唆・知見を生産現場にフィードバックしていくことで、県内農業を取り巻く課題解決への貢献を目指しています。



栽培した「むさしの米」

● 米づくり

地元生産者と連携した米づくりを通じて、気候変動に強い品種の栽培や新技術の活用などに挑戦し、課題解決手法の水平展開を目指しています。



ドローンの活用

● 加工品の開発

様々な加工品の開発を行いながら、そこで得られる示唆・知見を生産現場にフィードバックしていくことを目指しています。



日本酒の商品化

● 「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」

さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産復活と新たな産業の創造に向け、「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」を立ち上げ、事業者の方々や行政、教育機関と連携し、6次産業化の実績を積み上げています。これまでに、収穫した小麦を用いたうどんやクラフトビール等の商品を開発しました。



小麦トライアルファーム
(さいたま市)

製造業の高度化支援

業務効率化やカーボンニュートラルへの対応等の経営課題を有する製造業のお客さまに向けて、外部機関と連携したセミナーを開催するなど、企業の課題解決を支援しています。

主な連携機関

- ITコーディネータ協会
- 埼玉県DX推進支援ネットワーク
- 埼玉県産業振興公社
- 埼玉県よろず支援拠点 など

● デジタルエンジニアリングアカデミー

製造業のDXを伴走支援する連続講座「デジタルエンジニアリングアカデミー」を、東洋大学工業技術研究所と連携し継続開催しています。



講座で用いる
M5Stack

IoTを安価に実践できるインテリジェント端末として注目されている「M5Stack」を用いた実習や、ローコードツールやコミュニケーションアプリとの連携等の講義のほか、生産性向上を実現した工場の見学等を行い、デジタルを活用した生産現場の課題解決に繋げています。

産学官連携を通じた支援

県内に拠点を置く8大学と連携し、お取引先企業の研究開発・経営革新等の経営課題解決を支援しています。

連携大学と主な専門分野

- 東洋大学(川崎市) ▶ 製造・工業分野
- 立教大学(新座市) ▶ 観光産業
- 西武文理大学(狭山市) ▶ サービス産業
- 埼玉県立大学(越谷市) ▶ 介護・福祉分野
- 埼玉工業大学(深谷市) ▶ 電気分野
- 日本工業大学(宮代町) ▶ AIやIoTなど先進工学
- 埼玉大学(さいたま市) ▶ 文系・理系の広汎な分野
- 平成国際大学(加須市) ▶ 健康・スポーツ分野